

知っておきたい 雲仙市のしごと



長崎県雲仙市

はじめに

雲仙市が誕生し、5年目を迎えました。

市では、平成19年に策定いたしました雲仙市総合計画を推進し、雲仙市の将来像であります「豊かな大地 輝く海とふれあう人々で築く たくましい郷土」を実現するため、各種の事務・事業の「予算」を立て実施しております。

「予算」とは、1年間の収入と支出を見積もることであり、その「予算書」は、1年間の仕事の基となる重要な書類です。

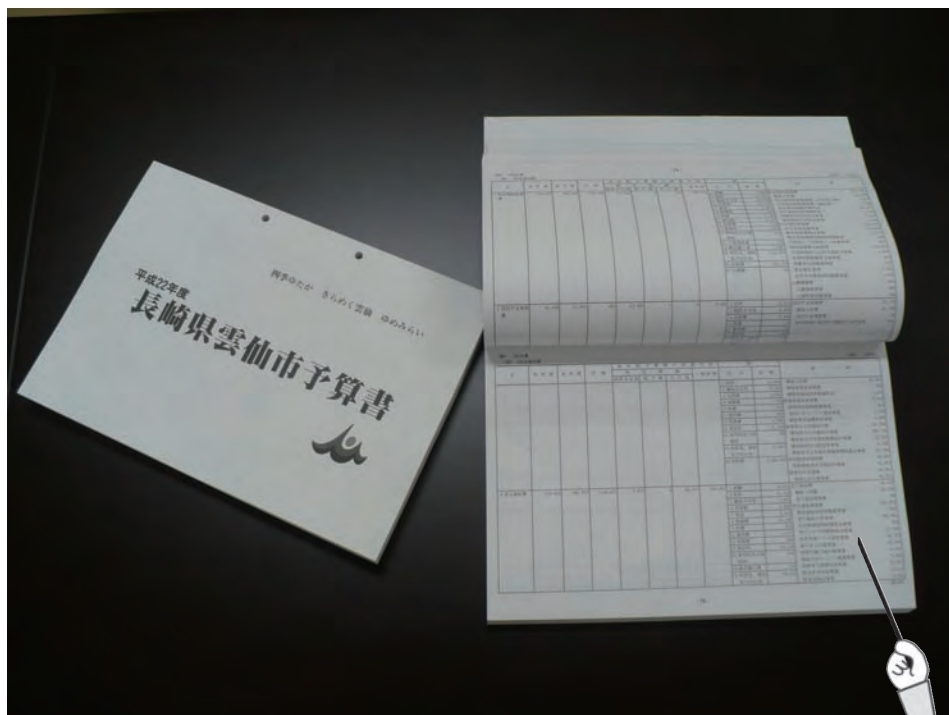
しかし、項目や予算額、仕事の概要が法令で決まった書式に従い、役所用語で書かれているために、どんな仕事をするのかわかりにくいのが現状です。

そこで、この1年間にどれだけの予算を使って、主にどのような事業を実施しようとしているのかを、市民の皆様にご具体的に伝えるために、今年で5回目となる予算説明書「知っておきたい雲仙市のしごと」を作成しました。

本書では、各会計別の予算の概要をはじめ、雲仙市総合計画の6つの基本方針に基づく今年度の主要事業やゼロ予算事業等の内容について、写真やイラストを多く使用することにより、できるかぎり読みやすく分かりやすい内容に努めて作成しています。

本書により、市民の皆様が雲仙市の予算を身近に感じていただき、よりよいまちづくりの議論の一助として有効にご活用いただければ幸いです。

総務部 財政課



CONTENTS (もくじ)

1	平成22年度雲仙市当初予算の概要	5
	一般会計	6
	当初予算（一般会計）の特徴を見てみよう！	8
	市民1人あたりに使われるお金	9
	市民1人あたりの貯金と借入金	10
	国民健康保険特別会計	11
	老人保健特別会計	11
	後期高齢者医療特別会計	12
	簡易水道事業特別会計	12
	下水道事業特別会計	13
	と畜場特別会計	13
	国民宿舎事業特別会計	14
	温泉浴場事業特別会計	14
	水道事業会計	14
2	平成22年度主要事業	15
	①みんなでつくるまちづくり	
	市民提案制度事業	17
	市税徴収推進事業	18
	公共料金口座振替システム導入事業	18
	男女共同参画推進事業	19
	国勢調査事業	20
	行政情報ネットワーク運用事業（サーバ更新事業）	20
	地域自立活動創出補助金	21
	②快適で住みよい暮らしづくり	
	地球温暖化対策事業	22
	県央西部塵芥組合清算事業	22
	公共交通対策事業	23
	道路河川公共土木事業	23
	デジタル放送共同受信対策事業	24
	消費者行政活性化事業	24
	循環型社会形成推進事業	25

国県道整備事業地元負担金	25
木指漁港海岸高潮対策事業	26
市道国見黒田線改良事業	27
市道瑞穂西浜津線改良事業	28
市道吾妻牛口牧ノ内線改良事業	29
市道愛野野平線改良事業	30
市道千々石山頭八ヶ島線改良事業	31
市道小浜中飛子・上長山線改良事業	32
市道南串山椎木川溜水線改良事業	33
河川改良事業	34
急傾斜地崩壊対策事業	34
道路保安施設整備事業	35
市営住宅改善事業	35
千々石地区簡易水道変更認可計画策定事業	36
建築物耐震化事業	36
瑞穂地区下水道施設整備事業	37
愛野地区統合簡易水道補助事業	38

③笑顔いっぱいの健康と福祉づくり

地域福祉計画策定事業	39
家族介護支援対策事業	39
予防接種事業（高齢者対象）	40
金婚式事業	40
福祉医療費支給事業	41
健康教育事業	41
特別保育事業	42
障害者自立支援給付事業	42

④力強い産業と仕事づくり

アンテナショップ運営事業	43
緊急雇用拡大奨励金支給事業	44
農地保全事業	44
雲仙ブランド推進事業	45
雲仙市「食のくにづくり」支援事業	46
雲仙市肥育素牛導入育成事業	46
商店街活性化推進事業	47

イノシシ等被害防止対策事業	47
農商工連携事業	48
⑤新しい観光・交流による活力づくり	
ジオパーク推進事業	49
修学旅行誘致事業	50
雲仙古湯地区街なみ環境整備事業	50
観光圏整備事業	51
⑥明日を担う人づくりと誇りあるふるさとづくり	
すこやか親育ちサポート事業	52
子ども手当支給事業	53
予防接種事業（乳幼児・学童等対象）	53
児童生徒サポートセンター事業	54
スクールサポーター配置事業	54
小中学校施設整備事業	55
鍋島邸施設整備事業	56
市民運動会開催事業	57
3 ゼロ予算事業	59
4 資料編	65
（1）合併に伴い新規計上又は拡充を行った事業	67
（2）県内13市財政状況比較表（20年度決算ベース）	68

平成22年度雲仙市当初予算の概要

平成22年度の雲仙市当初予算の全会計合計額は、372億7,793万4千円で、前年度と比較すると、1億7,150万9千円、率にして0.5%の増となっています。

会 計 名		平成22年度 a	平成21年度 b	増減額 a-b	伸率 (%)
一 般 会 計		259億2,654万円	252億7,452万8千円	6億5,201万2千円	2.6
特 別 会 計	国民健康保険特別会計	75億2,367万2千円	76億6,722万7千円	△1億4,355万5千円	△ 1.9
	老人保健特別会計	103万7千円	3,702万6千円	△3,598万9千円	△ 97.2
	後期高齢者医療特別会計	4億4,279万9千円	4億3,959万円	320万9千円	0.7
	簡易水道事業特別会計	9億4,959万4千円	8億3,711万9千円	1億1,247万5千円	13.4
	下水道事業特別会計	14億5,900万9千円	18億5,858万3千円	△3億9,957万4千円	△ 21.5
	と畜場特別会計	2億384万2千円	2億394万8千円	△10万6千円	△ 0.1
	国民宿舎事業特別会計	1億9,194万7千円	1億6,873万9千円	2,320万8千円	13.8
	温泉浴場事業特別会計	1,066万2千円	1,076万3千円	△10万1千円	△ 0.9
小 計		367億910万2千円	364億9,752万3千円	2億1,157万9千円	0.6
水道事業会計（企業会計）		5億6,883万2千円	6億890万2千円	△4,007万円	△ 6.6
合 計		372億7,793万4千円	371億642万5千円	1億7,150万9千円	0.5

※ 水道事業会計の予算額は、収益的支出と資本的支出の合計額です。

【特別会計】

特別会計とは、特定の事業を行う場合または特定の収入で事業を行う場合に、経理をほかの会計と区別する必要があるため、法律や条例に基づいて設置しているものです。

雲仙市では、上記の8つの特別会計を設けています。

【企業会計】

企業会計とは、原則「市税」を収入財源とせず、独立採算制を追求する極めて企業的色彩の強い事業を行う場合に、地方公営企業法に基づいて設置する会計です。

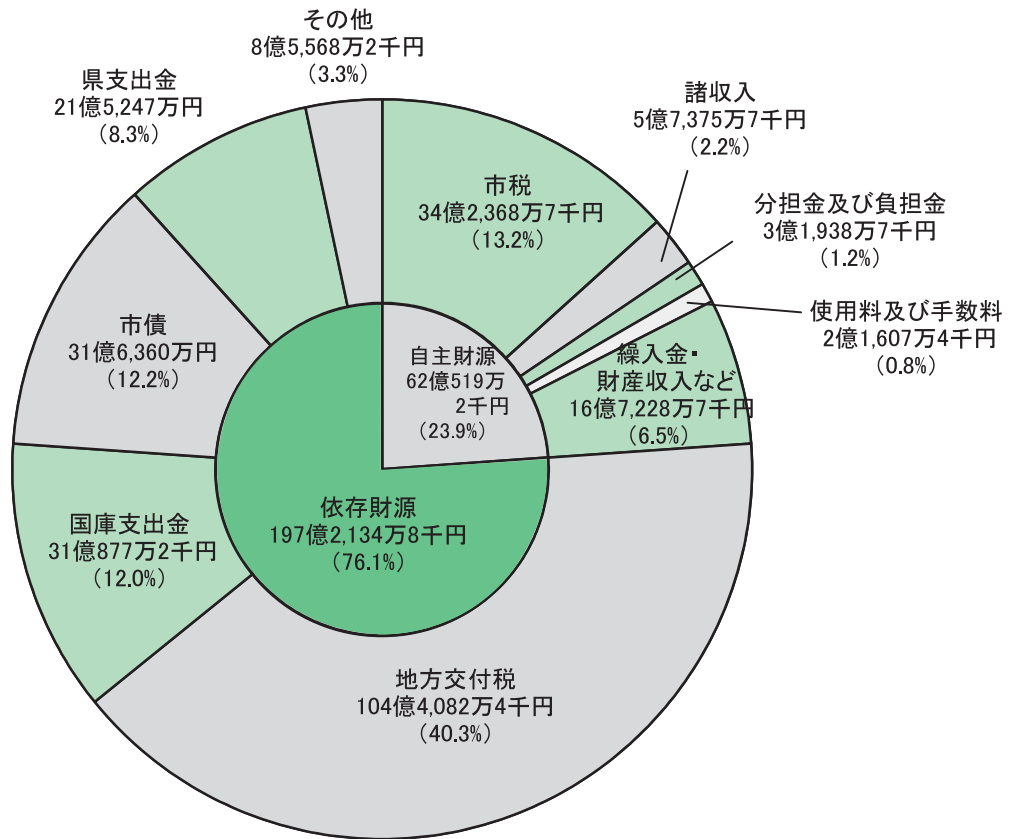
一般会計やその他の特別会計とは異なり、民間企業と同様の経理を行います。

平成22年度一般会計当初予算

総額 259億2,654万円

一般会計とは、地方公共団体（県や市など）の行政運営の基本的な経費について計上した会計です。

歳入



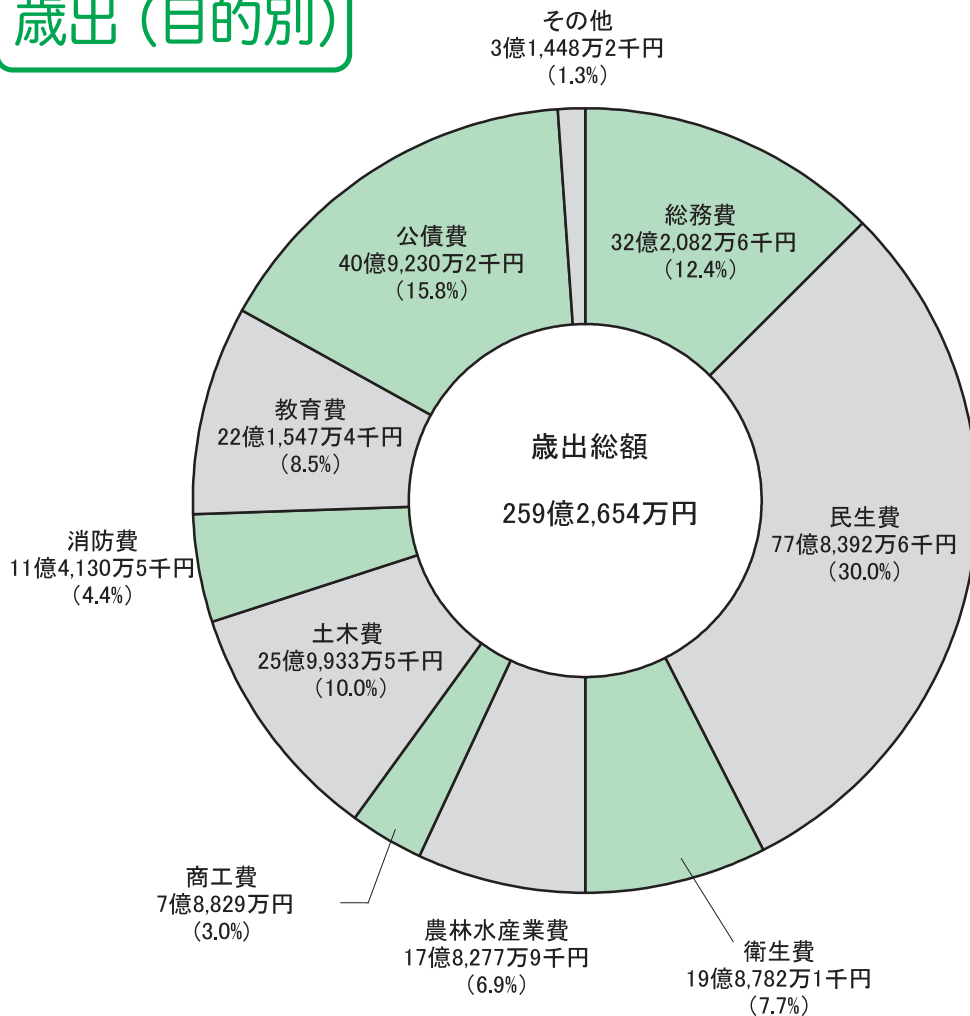
【自主財源】 (市が自主的に収入できる財源)

- 市税……………市民税や固定資産税など、市民の皆様にご納めいただく税金
- 諸収入……………貸付金元利収入や預金利子など他の歳入科目に属さないお金
- 分担金及び負担金…市が行う事業などにより、特に利益を受ける人から徴収するお金（老人ホーム入所者負担金など）
- 使用料及び手数料…公共施設の使用料や住民票の交付手数料など
- 繰入金・財産収入…各種基金の取り崩しなどにより繰り入れるお金や市が所有する財産を貸付たり、売り払うことなどにより生じるお金

【依存財源】 (国や県の意思決定に基づき収入される財源)

- 地方交付税……………一定水準の行政運営ができるよう、所得税や酒税などの国税の一部を市の財政状況に応じて交付されるお金
- 国庫支出金……………特定の事業などに対して国から交付されるお金
- 県支出金……………特定の事業などに対して県から交付されるお金
- 市債……………建設事業などを行うために、国や金融機関から借り入れるお金
- その他……………地方譲与税や地方消費税交付金など

歳出（目的別）



- 総務費……………行政活動の共通的な管理運営や企画調整などのために使われるお金
- 民生費……………福祉サービスのために使われるお金
- 衛生費……………健康づくりや環境衛生などのために使われるお金
- 農林水産業費……………農業・林業や水産業の振興のために使われるお金
- 商工費……………商業振興や観光などのために使われるお金
- 土木費……………道路・水路や公園の整備などのために使われるお金
- 消防費……………消防・防災のために使われるお金
- 教育費……………学校教育や生涯学習・スポーツ振興などのために使われるお金
- 公債費……………市債（借金）の返済のために使われるお金
- その他……………議会運営や災害復旧などのために使われるお金

当初予算(一般会計)の特徴を見てみよう!



雲仙市の一般会計の当初予算は、歳入(収入)・歳出(支出)ともに259億2,654万円となっていますが、このままでは金額が大きすぎてなかなか実感がわいてきません。そこで、当初予算を年収300万円の家庭の家計に置き換えて、雲仙市の当初予算(一般会計)の特徴を見てみましょう。

市の歳出予算 (性質別)			家計に置き換えた場合			
項目	金額		項目	金額		比率 (%)
				年間	1ヶ月	
義務的経費	人件費	42億6,589万9千円	食費	49万2千円	4万1千円	16.4
	公債費	40億9,228万8千円	借金の返済	47万4千円	4万円	15.8
	扶助費	49億3,960万1千円	医療費	57万3千円	4万8千円	19.1
投資的経費	普通建設事業費等	35億2,742万8千円	自宅の増改築費	40万8千円	3万4千円	13.6
その他の経費	物件費	24億9,365万5千円	光熱水費、電話代	28万5千円	2万3千円	9.5
	繰出金	22億366万円	子どもへの仕送り	25万5千円	2万1千円	8.5
	補助費等・投資及び出資金・貸付金など	43億4,831万8千円	自治会費、サークル活動の会費	50万7千円	4万2千円	16.9
	積立金	5,569万1千円	貯金	6千円	1千円	0.2
一般会計の支出合計		259億2,654万円	一般家計の支出合計	300万円	25万円	100.0

市の歳入予算			家計に置き換えた場合			
項目	金額		項目	金額		比率 (%)
				年間	1ヶ月	
自主財源	市税・使用料・財産収入など	47億7,915万1千円	給料	55万2千円	4万6千円	18.4
	基金からの繰入金	14億2,604万1千円	貯金の取り崩し	16万5千円	1万4千円	5.5
依存財源	地方交付税	104億4,082万4千円	親などからの援助	120万9千円	10万1千円	40.3
	国県支出金など	61億1,692万4千円	"	70万8千円	5万9千円	23.6
	市債	31億6,360万円	借金(ローン)	36万6千円	3万円	12.2
一般会計の収入合計		259億2,654万円	一般家計の収入合計	300万円	25万円	100.0

雲仙市の当初予算の特徴…

まず、上の表を見ますと、雲仙市(家庭)では人件費(食費)、公債費(借金の返済)、扶助費(医療費)などに多くのお金がかかっています。

市では、この3つを義務的経費と呼んでいます。義務的経費は、その支出が義務付けられ、必ず支払わなければならないものです。つまり、この義務的経費の比率が大きければ大きいほど、自由に使うお金が少なくなりますので、財政の健全化を図るにあたって大きな障害となります。雲仙市では、義務的経費の割合が支出全体の約5割を占めています。

次に、下の表を見ますと、市は市税や使用料(給料)、基金からの繰入金(貯金の取り崩し)など、市が自主的に収入することのできる自主財源だけでは運営(生活)することができず、地方交付税や国県支出金(親などからの援助)、市債(借金)などの依存財源に頼って運営(生活)しています。

詳しく見ますと、自主財源の合計が収入全体の23.9%であるのに対して、依存財源の合計は76.1%で、その中でも、地方交付税は収入全体の40.3%を占めていますので、雲仙市は地方交付税に大きく頼って運営(生活)しています。

●市民1人あたりに使われるお金●

一般会計の歳出予算（目的別）を市民1人あたりに換算してみました。

総 額

528,628円 です。

（平成22年3月31日現在人口 49,045人）

民生費



158,710 円

衛生費



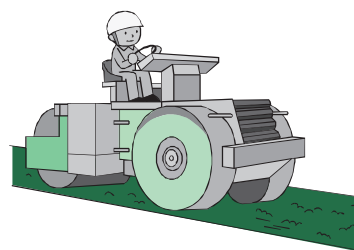
40,530 円

農林水産業・商工費



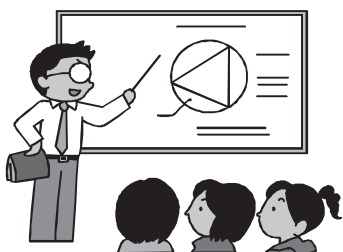
52,423 円

土木費



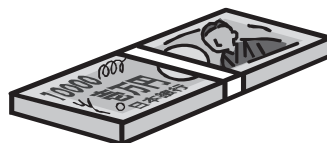
52,999 円

教育費



45,172 円

公債費



83,440 円

その他

（行政運営、消防・防災等）



95,354 円

●市民1人あたりの貯金残高●

一般会計の積立金（基金）をもとに市民1人あたりの貯金残高を換算してみました。（平成21年度末見込み）

252,437 円 です。

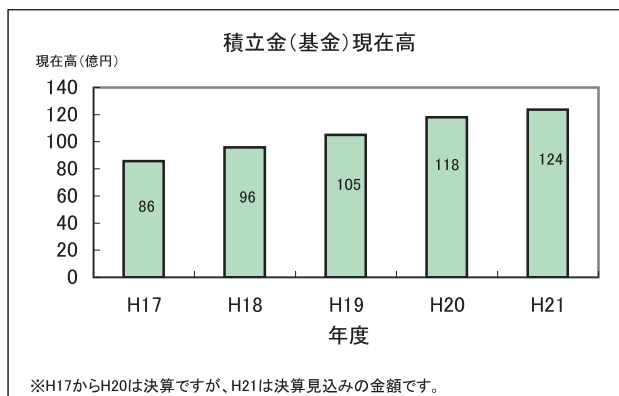
積立金（基金）とは、

自治体のいわゆる貯金のことです。一般の家庭において出産や進学などに備えて積み立てておく貯金と基本的には同じもので、特定の目的や将来の出費などに備えて蓄えているものです。

雲仙市においては、借入金を減らし、貯金を増やす健全な財政運営をめざし、計画を立てて運用にあたっています。

現在は、合併による優遇措置などにより、県内他市と比較して、積立金(基金)残高は多い方ですが、平成28年度以降は、段階的に優遇措置が減少し、雲仙市の財政状況は大変厳しくなると予測されます。

そのために、市民の皆様のご理解とご協力をいただきながら、将来のために貯金を増やしておく必要があります。



●市民1人あたりの借入金残高●

一般会計の市債（地方債）現在高をもとに市民1人あたりの借入金残高を換算してみました。（平成21年度末見込み）

636,206 円 です。

市債（地方債）とは、

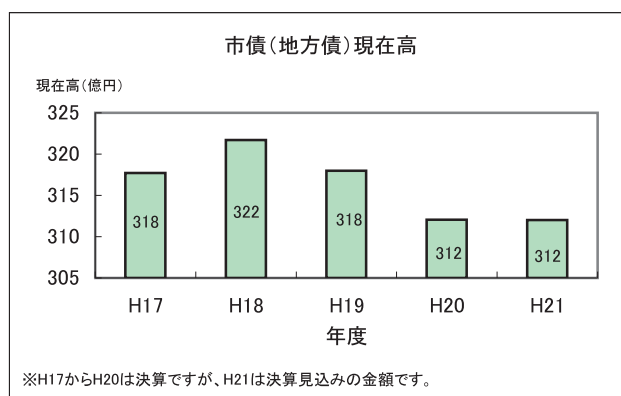
自治体が、学校や道路橋りょうなどの社会基盤を整備する資金を調達するために、国や銀行などから借り入れるお金です。

多額の出費がある場合や、収益的な投資のように将来の世代にも、経費を負担させることが公平な場合等に、借り入れることができます。

現在、国も地方（県や市町村など）も、大きな額のお金を借りていて、そのお金を返すために大変苦労しています。

雲仙市においては、借入金残高が大きにならないよう、財政運営を行っているところであり、繰上償還などにより、借入金残高は減少傾向にあります。

また、合併特例債や過疎対策事業債など、元利償還金の70%以上が普通交付税で措置される有利な市債を多く借り入れているため、普通交付税で措置される額を除いた実質的な残高はかなり少なくなります。



国民健康保険特別会計

国民健康保険事業を行うための会計です。
国民健康保険税をはじめ国県からの支出金、交付金などを主な収入財源として、保険給付事業や保健事業などを行っています。



総額 75億2,367万2千円

歳入区分	予算額
国民健康保険税	15億9,516万4千円
国庫支出金	25億4,756万6千円
療養給付費等交付金	2億6,041万4千円
前期高齢者交付金	9億7,208万9千円
県支出金	3億3,193万1千円
共同事業交付金	10億4,533万円
繰入金	5億3,852万6千円
その他	2億3,265万2千円

歳出区分	予算額
保険給付費	50億2,703万9千円
後期高齢者支援金	7億6,611万7千円
介護納付金	4億162万8千円
共同事業拠出金	11億914万2千円
その他	2億1,974万6千円

例年、歳出総額から国・県等の歳入を差し引いた分を国保税で賄うことを基本としていますが、今年度も、財政調整基金の残高が残り少ない中、2億円の基金取り崩しを行い、予算の編成を行いました。

老人保健特別会計

老人保健事業（主に75歳以上の医療費給付など）を行うための会計です。
今年度は、遡及して請求のあった医療費等についてのみ支払いを行います。



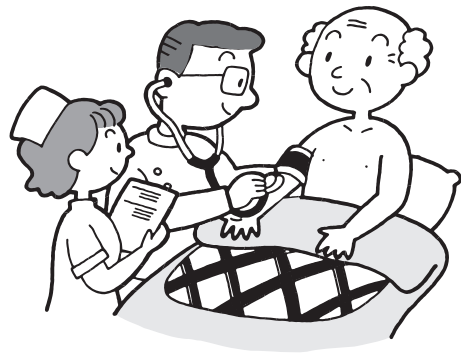
総額 103万7千円

歳入区分	予算額
支払基金交付金	52万8千円
繰入金	50万6千円
その他	3千円

歳出区分	予算額
医療諸費	103万4千円
諸支出金	3千円

後期高齢者医療特別会計

主に75歳以上の方の医療費の給付は、長崎県後期高齢者医療広域連合が医療給付を行っていますが、加入者が納める保険料や一般会計からの繰入金を財源として、広域連合へ納付金を支払います。



総額 4億4,279万9千円

歳入区分	予算額
後期高齢者医療保険料	2億6,197万4千円
繰入金	1億7,945万2千円
その他	137万3千円

歳出区分	予算額
後期高齢者医療広域連合納付金	4億3,428万3千円
その他	851万6千円

簡易水道事業特別会計

簡易水道事業（給水人口が5,000人以下である水道事業）を行うための会計です。

水道事業収入（水道使用料など）や一般会計繰入金を主な収入財源として、飲料水の安定供給のために給水管の工事や既存設備の維持管理などを行っています。



総額 9億4,959万4千円

歳入区分	予算額
水道事業収入	3億3,566万6千円
国庫支出金	1億80万円
県支出金	1,800万円
繰入金	1億7,861万8千円
市債	3億1,250万円
その他	401万円

歳出区分	予算額
水道事業費	2億1,599万1千円
施設費	5億280万8千円
公債費	2億2,579万5千円
その他	500万円

下水道事業特別会計

下水道施設（公共下水道、特定環境保全公共下水道、農業集落排水、小規模集合排水処理、特定地域生活排水処理）の整備や施設の維持管理を行うための会計です。



総額 14億5,900万9千円

歳入区分	予算額
使用料及び手数料	1億6,509万1千円
国庫支出金	1億8,970万3千円
県支出金	1,102万5千円
繰入金	8億5,663万2千円
市債	2億140万円
その他	3,515万8千円

歳出区分	予算額
総務費	1億3,920万1千円
公共下水道事業費	5億9,555万8千円
農業集落排水事業費	3,613万5千円
公債費	6億5,345万8千円
その他	3,465万7千円

と畜場特別会計

「雲仙市食肉センター」の管理運営を行うための会計です。使用料を主な収入財源として、食肉加工処理などを行っています。

と畜法により食用に供する目的で豚や牛等の家畜の解体処理を行っております。



総額 2億384万2千円

歳入区分	予算額
事業収入	2億83万2千円
その他	301万円

歳出区分	予算額
と畜場事業費	1億7,380万6千円
公債費ほか	3,003万6千円

国民宿舎事業特別会計

国民宿舎「望洋荘」の管理運営を行うための会計です。宿泊料や休憩料などの利用料を主な収入財源としています。



総額 1億9,194万7千円

歳入区分	予算額
国民宿舎事業収入	1億8,975万5千円
繰入金	151万8千円
その他	67万4千円

歳出区分	予算額
国民宿舎事業費	1億8,922万9千円
公債費ほか	271万8千円

温泉浴場事業特別会計

市営共同浴場「浜の湯」の管理運営を行うための会計です。共同浴場の使用料を主な収入財源としています。



総額 1,066万2千円

歳入区分	予算額
使用料及び手数料	908万4千円
その他	157万8千円

歳出区分	予算額
温泉浴場事業費	1,064万2千円
その他	2万円

水道事業会計

飲料水を供給する事業で、給水区域の人口が5,000人を超える国見町、吾妻町、小浜町で行っています。独立採算を原則とする企業会計により安定した水の供給と運営に努めています。



収入 3億7,102万7千円

支出 5億6,883万2千円

歳入区分	予算額
水道事業収益（水道使用料など）	3億6,885万4千円
水道事業資本的収入（他会計負担金）	217万3千円

歳出区分	予算額
水道事業費用（取水費など）	3億5,753万5千円
水道事業資本的支出（建設改良費など）	2億1,129万7千円

※ 収入と支出の差引不足額については、過年度分の損益勘定留保資金（現金の支出を伴わない減価償却費など、企業の内部に留保されるお金）等で補てんします。

2. 平成22年度主要事業

●雲仙市総合計画の6つの基本方針

- | | |
|-------------------------|-----------|
| ① みんなでつくるまちづくり | (P17～P21) |
| ② 快適で住みよい暮らしづくり | (P22～P38) |
| ③ 笑顔いっぱいの健康と福祉づくり | (P39～P42) |
| ④ 力強い産業と仕事づくり | (P43～P48) |
| ⑤ 新しい観光・交流による活力づくり | (P49～P51) |
| ⑥ 明日を担う人づくりと誇りあるふるさとづくり | (P52～P57) |

市民提案制度事業

1,041万7千円

(担当:市民生活部 市民窓口課)

市民が事業の企画提案、審査、実施に携わり、市民主体の事業が展開されることにより、市税への関心を高めるとともに、市民の市政への参画と市民協働の促進を図ります。

事業主体 市内に事務所及び活動場所を有する団体

事業内容 市民等で構成する任意の団体などが提案し、提案団体自ら実施主体となる公益的な事業に対し、個人市民税の1%相当額の範囲内で、補助を行います。また、提案された事業は、市民で構成する審査委員会により審査し、その意見を提案事業の採択に反映させます。

〔提案対象事業等〕

団体が自ら実施主体となる公益的な事業で、次のいずれかに該当する事業

- (1) 地域課題や社会的課題の解決が図られる事業
- (2) 市の一体感や市民の連帯感の醸成が図られる事業
- (3) 先駆性等工夫やアイデアが認められる事業
- (4) 市民満足度が高まり、具体的な成果や効果が期待できる事業



**あなたの提案が
活かされる！
雲仙市の事業として
携わってみませんか！**

市税徴収推進事業

1,692万8千円

(担当:市民生活部 収納推進課)

雲仙市の自主財源である市税を確保するために、徴収嘱託員による臨戸徴収を強化し、収納率の向上に努めます。



- 徴収嘱託員を現在の4名から5名に増員し、臨戸徴収の強化を図ります。
- 平成21年度に導入した滞納管理システムによる滞納者の個別管理を徹底し、納税の公平性を保つため、的確な対応を行います。

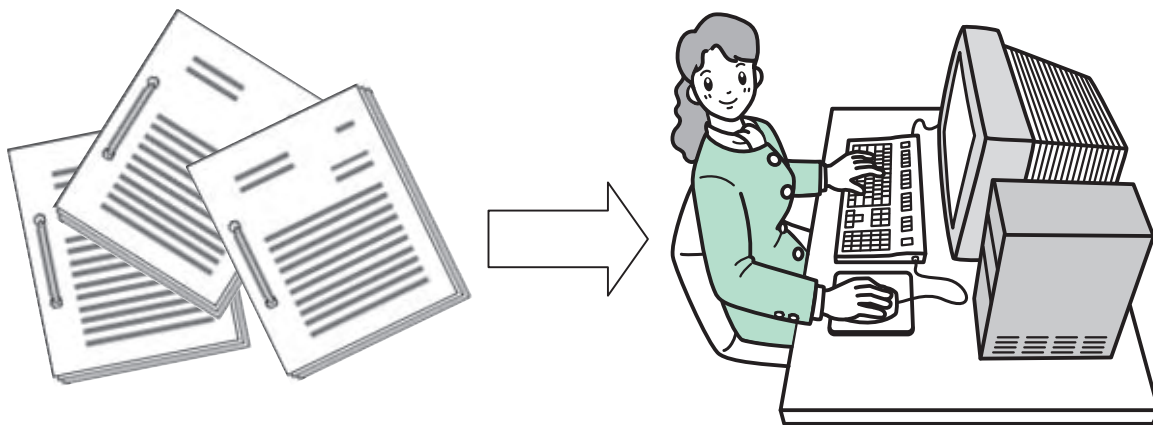
《新規事業》

公共料金口座振替システム導入事業

95万2千円

(担当:会計課)

電気料金・電話料金・水道料金の支払事務について、現在各担当課で起票処理していますが、本システムの導入により会計課で一括支払処理することが可能となり、支払事務コストの削減及び支払遅延防止を図ります。



男女共同参画推進事業

61万6千円

(担当: 政策企画課(男女共同参画センター))

雲仙市男女共同参画計画に基づき、男女が互いに人権を尊重しつつ、社会の対等な構成員として、あらゆる分野においてそれぞれの個性と能力を十分に発揮できる男女共同参画社会の実現を目指します。

- 男女共同参画関連講座、DV及びデートDV防止講座
- 男女共同参画週間(6/23~29)に合わせた啓発事業の実施
 - (1) 女性リーダー育成講座の開催
 - (2) 啓発標語・川柳の募集・表彰
- 男女共同参画懇話会の開催(次期計画への提言)
- 庁内推進会議による各課施策の推進(職員対象講座の実施ほか)



DV 防止セミナー



広報「うんぜん」
「身近に感じて男女共同参画」コーナー

国勢調査事業

2,029万4千円

(担当:総務部 情報統計課)

本調査は、人口に関する全数調査で、我が国に住んでいるすべての人を対象とする国の最も基本的な調査であり、国や地方公共団体の各種行政施策等に利用されることを目的としています。

市内全世帯への調査
調査基準日：平成22年10月1日
調査対象：市内に居住する全ての方



(大正9年)
第1回 国勢調査ポスター

《新規事業》

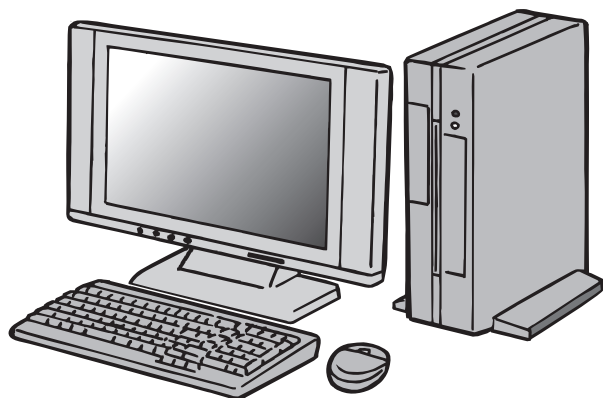
行政情報ネットワーク運用事業 (サーバ更新事業)

5,155万5千円

(担当:総務部 情報統計課)

情報通信の主要機器であるサーバは、電子メール・ホームページの配信や事務データ保持及び各種システムの提供を一元管理しています。

これらの重要な役割を果たすサーバを更新し、効率的、安定的なシステムを構築することにより、住民サービスの向上を図ります。



対
種

象：行政情報システムサーバ
類：電子メールサーバ等

地域自立活動創出補助金

700万円

(担当:市民生活部 市民窓口課)

自ら考え実践しながら活動している「地域活性化団体」の資質向上や、活動拡大のため、市内の地域資源を活かした新たな地域活動の創出に対し支援を行います。これにより、地域の活性化と団体の自立を促し、「みんなでつくるまちづくり」を実現します。

〔事業主体〕

5人以上で組織されている団体

〔補助対象事業〕

イベント、体験型研修、調査研究などで、公益的な活動の創出を目的とする事業

〔補助限度額〕

1団体30万円

〔補助要件〕

自己資金は、次の金額の9割以上を確保すること。

- ・1回目は補助金額と同額
- ・2回目は補助金額の1.5倍
- ・3回目は補助金額の2倍

※自己資金は、金銭的資金だけでなく、ボランティア等の「価値提供」を金額換算して算定することができます。

〔交付回数〕

- ・原則として3回を限度



《新規事業》

地球温暖化対策事業

738万2千円

(担当:市民生活部 環境政策課)

「地球温暖化対策の推進に関する法律」及び「エネルギーの使用の合理化に関する法律」等に基づき、市内における地球温暖化対策を推進します。

- 一般家庭等が設置する太陽光発電に対する補助
 - ・補助金額:1Kwにつき3万円、上限を10万円とする。
 - ・補助件数:約50件
- 小水力発電実施基本設計の実施
 - ・小水力発電について、実施検討のための測量・調査を実施し、基本設計を行います。
- 市民・事業者等に対する地球温暖化対策啓発活動推進及び温泉廃熱を利用したバイオディーゼル燃料の普及啓発活動の推進ほか



《新規事業》

県央西部塵芥組合清算事業

4,224万3千円

(担当:市民生活部 環境政策課)

雲仙市(旧吾妻町、旧愛野町、旧千々石町)、諫早市(旧森山町、旧飯盛町)で可燃ごみを共同処理していた県央広域圏西部地区塵芥処理一部事務組合が平成22年3月31日をもって解散することに伴い、承継団体として雲仙市が関係する事務を行うこととなったため、その必要な経費を計上し清算事務を行います。



- 残余財産の構成市(諫早市)への分配
- 施設管理道路用地の購入
- 汚染負荷量賦課金の支払いなど

公共交通対策事業

2,349万7千円

(担当:市民生活部 市民窓口課)

地域の主要な公共交通機関である鉄道や路線バス、乗合タクシー等を安定的に運行させ、市民生活に必要な交通手段の確保を図るとともに、地域公共交通の活性化及び再生に向けた包括的な取り組みを実施します。

1. 乗合タクシー事業（上岳線、山領線）
県営バスの島原半島撤退に伴い、運行が廃止された路線において乗合タクシーによる代替運行を行います。
2. 鉄道軌道輸送対策事業（安全確保対策補修等）
島原鉄道が所有する鉄道施設及び車両等について、緊急または中長期的に実施する保全整備事業に対して助成を行います。
3. 地域公共交通再生総合事業（バス停上屋整備）
雲仙市地域公共交通総合連携計画に基づき、路線バス利用者の利便性と安全性の向上を図るための待合環境整備を行います。



道路河川公共土木事業

5,300万円

(担当:建設整備部 道路河川課)

地域社会の発展及び公共の福祉の増進を図るため、市民自らが行う市道、法定外公共物及び水路の改修等に対し助成します。

〔対象事業〕

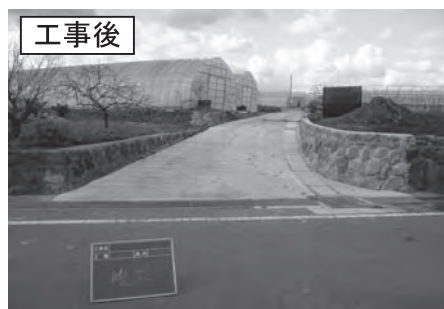
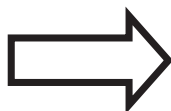
- ・ 道路（市道及び法定外公共物）の改修及び舗装
- ・ 水路の改修及び浚渫

〔補助要件〕

- ・ 補助率100%（10万円以上200万円以下）
 - ・ 受益者 5戸以上
- ※ 別途、道路幅員や用地など細かい定めがあります。



H21
国見 今出西線



《新規事業》

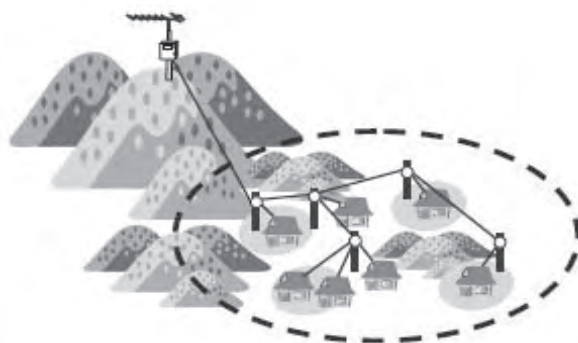
デジタル放送共同受信対策事業

146万6千円

(担当:総務部 情報統計課)

テレビ放送の難視聴解消を目的として設置された共同受信施設について、地上デジタル放送を受信するための施設の改修又は新たな設置に要する経費の一部を補助することにより、地域住民の負担軽減を図ります。

- 事業主体 市内のテレビ共同受信組合
- 事業内容 テレビ共同受信施設のデジタル化対応経費の一部を補助します。



消費者行政活性化事業

691万1千円

(担当:市民生活部 市民安全課)

ますます悪質、巧妙化する消費者被害から、市民の安心・安全を確保するため、消費生活センターを設置し、消費生活相談窓口の充実を図るとともに、消費者教育を強化することにより、消費者トラブルの未然防止と自己防衛意識の高揚を図ります。



- 消費生活相談窓口の整備・強化
悪徳商法、多重債務等の消費者被害にあった市民の相談を受け、問題解決に向けて適切、迅速に支援する体制の整備を図るため、消費生活相談員を1名増員し、2名体制とします。
- 消費者教育の強化
消費者被害を未然に防ぐため、PIO-NET（全国消費生活情報ネットワーク・システム）に加入し、全国の被害情報を迅速に収集し、広報紙、チラシ及び出前講座を通じて、啓発を行います。

《新規事業》

循環型社会形成推進事業

1,600万円

(担当:市民生活部 環境政策課)

「雲仙市地域循環型社会形成推進地域計画」に基づき、市内4箇所に残された旧焼却施設を解体し、跡地の有効活用を図るため、リサイクル施設の拠点となるストックヤード等を建設することにより、循環型社会の形成を推進します。

- 事業開始1年目：焼却施設解体のための事前調査・基本設計
- 事業開始2年目：焼却施設解体
- 事業開始3年目：ストックヤード建設

○実施時期及び対象施設

- ・平成22年度～24年度
 - ①南串山町ごみ焼却炉、②小浜町清掃センター
- ・平成23年度～25年度
 - ③瑞穂町ごみ焼却炉、④国見町ごみ焼却炉



国県道整備事業地元負担金

9,450万円

(担当:建設整備部 監理課)

長崎県が単独事業として実施する国道及び県道整備事業に対し、地元負担金を支出し、事業の推進を支援します。

①舗装改修

路線名	地区名
一般国道251号	市内一円
一般国道389号	国見町
主要地方道小浜北有馬線	小浜町
一般県道野田道西郷港線	瑞穂町
一般県道雲仙神代線	瑞穂町
一般県道北野千々石線	小浜町

②くらしの道緊急改良事業

路線名	地区名
一般国道251号	南串山町～吾妻町
一般国道389号	国見町
一般県道北野千々石線	小浜町
一般県道荒牧尾登線	南串山町

③改良事業

路線名	地区名
主要地方道小浜北有馬線	小浜町
一般県道雲仙千々石線	千々石町